

問1 中国の春秋戦国時代という社会の混乱期において、親族間の情愛を基本とする「仁」の心を重視し、道徳によって国を治めるべきだと説いた思想家は誰か。（2022年 鳥取公立入試 類似）

1. 孔子 2. 老子 3. 孟子 4. 朱子

問2 現在のイラク付近にあたる、チグリス川・ユーフラテス川流域で成立したメソポタミア文明に関する記述として、正しいものはどれですか。（2017年 岩手県公立入試 類似）

1. 月の満ち欠けの周期を一か月とする暦が作られ、時間は60進法で数えられた。 2. 定期的に増水するナイル川の氾濫を予測するために、太陽暦が発明された。 3. インダス川流域において、モヘンジョ・ダロなどの計画的な都市が築かれた。 4. 黄河の流域において、亀の甲羅や牛の骨に刻まれた甲骨文字が使われた。

問3 古代エジプト文明の特色について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2023年 青森県公立入試 類似）

1. ナイル川の氾濫時期を知るために天文学が発達し、太陽暦が作られた。 2. チグリス・ユーフラテス川の流域で栄え、粘土板に楔形文字が刻まれた。 3. 時間をはかる単位として60進法が発明され、1週間を7日とする制度が生まれた。 4. 各地に都市国家（ポリス）が成立し、市民による進んだ民主政治が行われた。

問4 中世ヨーロッパにおいて、十字軍の遠征が行われたことがその後の社会に与えた背景や影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2023年 山梨公立入試 類似）

1. 遠征を通じてイスラム世界の進んだ文化や学問が流入し、ルネサンスの遠因となった 2. 遠征に成功したことでローマ教皇の権威が絶対的なものとなり、宗教改革を未然に防いだ 3. 遠征軍がアジアから持ち帰った茶の栽培が広まり、ヨーロッパの農業構造が変化した 4. イスラム勢力が完全に消滅したため、キリスト教諸国によるアメリカ大陸の植民地化が始まった

問5 アジアに位置する二つの文明について、南アジアのインダス川流域で栄えた文明と、東アジアの黄河・長江流域で栄えた文明における、それぞれの特徴的な遺物や記述の組み合わせとして適切なものを選びなさい。（2019年 沖縄公立入試 類似）

1. インダス川流域ではモヘンジョ・ダロなどの都市遺跡が、黄河・長江流域では亀の甲羅などに刻まれた甲骨文字が見られる。 2. インダス川流域ではくさび形文字を記した粘土板が、黄河・長江流域ではハムラビ法典を記した石柱が見られる。 3. インダス川流域ではパピルスに記された死者の書が、黄河・長江流域では青銅器を用いた仏像が見られる。 4. インダス川流域では太陽暦に基づいた農事暦が、黄河・長江流域ではインダス文字を用いた印章が見られる。

問6 紀元前16世紀ごろの中国で成立した殷（いん）の遺跡からは、亀の甲羅や動物の骨に文字が刻まれた資料が数多く出土しています。この資料に刻まれた、現在の漢字の起源とされる文字を何といいますか。（2015年 長崎県公立入試 類似）

1. 楔形文字 2. 甲骨文字 3. ヒエログリフ 4. 象形文字

問7 古代中国の黄河文明で用いられた「甲骨文字」について、その特徴や歴史的背景を説明した文として最も適切なものを次の中から選びなさい。（2017年 大分県公立入試 類似）

1. 亀の甲羅などに占いの結果を記したもので、現在の漢字の起源となった。 2. シュメール人が粘土板に刻んだ文字で、のちに周辺諸国へと広まった。 3. エジプトでパピルスという紙に書かれた文字で、王の業績を記録した。 4. フェニキア人が考案した表音文字で、のちのアルファベットの基礎となった。

問8 マチュピチュを築いたインカ帝国の特徴について述べた文として、正しいものを選択してください。（2015年 千葉県公立入試 類似）

1. 文字は持たなかったが、結んだ紐の形や色で情報を伝える「キーブ（結縄）」という手段を用いていた。 2. インダス川流域で栄え、高度な下水道完備やレンガ造りの都市計画を特徴としていた。 3. ナイル川の氾濫を利用した農業を行い、国王のために巨大なピラミッドを建造した。 4. カースト制度と呼ばれる厳しい身分制度を維持し、仏教やヒンドゥー教が興る基盤となった。

問9 チグリス川とユーフラテス川の流域で成立した古代文明において、粘土板に刻んで使用されていた文字を何といいますか。

（2016年 大分県公立入試 類似）

1. 楔形文字 2. 甲骨文字 3. 象形文字（ヒエログリフ） 4. インダス文字

答え合わせ・解説

問1	答え 1 孔子	春秋戦国時代の諸子百家の一人であり、武力による統治ではなく、礼節と「仁」の心に基づいた道徳政治を提唱しました。彼の教えは後に「儒教」としてまとめられ、日本を含む東アジア諸国の政治理念や道徳観に深く浸透することとなりました。
問2	答え 1 月の満ち欠けの周期を一か月とする暦が作られ、時間は60進法で教えられた。	メソポタミア文明では、天文学が発達し、月の満ち欠けに基づいた「太陰暦」が用いられました。また、角度や時間を測る際に「60進法」が取り入れられており、これは現代の1分が60秒、1時間が60分という仕組みの源流となっています。他の選択肢は、ナイル川流域のエジプト文明、インダス川流域のインダス文明、黄河流域の中国文明に関する説明であり、地理的背景や文化遺産を区別して理解しておく必要があります。
問3	答え 1 ナイル川の氾濫時期を知るために天文学が発達し、太陽暦が作られた。	エジプトは「ナイルのたまもの」と呼ばれるように、ナイル川の定期的な氾濫が肥沃な土壌をもたらし、農業を発展させました。この氾濫の時期を正確に知る必要から天文学が進歩し、太陽暦が生まれました。他の選択肢にある楔形文字、60進法、1週間を7日とする制度はメソポタミア文明の特徴であり、都市国家（ポリス）や民主政治は古代ギリシャの特徴です。
問4	答え 1 遠征を通じてイスラム世界の進んだ文化や学問が流入し、ルネサンスの遠因となった	十字軍の遠征は軍事的には失敗に終わりましたが、東方との交流が活発化したことで、当時のヨーロッパよりも進んでいたイスラム世界の医学、天文学、古代ギリシャの文献などが流入しました。これが後の人間中心の文化運動であるルネサンスにつながる重要な背景となりました。
問5	答え 1 インダス川流域ではモヘンジョ・ダロなどの都市遺跡が、黄河・長江流域では亀の甲羅などに刻まれた甲骨文字が見られる。	インダス文明は、計画的に整備された都市遺跡であるモヘンジョ・ダロやハラッパ、未解読のインダス文字が刻まれた印章などが特徴です。一方、中国文明（黄河文明など）では、漢字の原型となった甲骨文字や、高度な技術で作られた青銅器が特徴的です。
問6	答え 2 甲骨文字	中国最古の王朝とされる殷では、政治の重要な事柄を決定する際に神の意志を問う占いが行われていました。その占いの結果を亀の甲羅（甲）や動物の骨（骨）に刻んで記録したものが、現在の漢字のもとになった甲骨文字です。この文字が発見された都の跡は「殷墟（いんきょ）」と呼ばれ、当時の高度な文明を伝えています。
問7	答え 1 亀の甲羅などに占いの結果を記したもので、現在の漢字の起源となった。	甲骨文字は、紀元前1600年ごろの殷（商）の遺跡から発見された文字です。主に占いという宗教的な儀式の記録のために用いられましたが、その形や構造がのちの時代の漢字へと直接つながっている点が大きな歴史的意義を持っています。他の選択肢にある楔形文字（メソポタミア）やヒエログリフ（エジプト）とは成立過程や地域が異なります。
問8	答え 1 文字は持たなかったが、結んだ紐の形や色で情報を伝える「キープ（結縄）」という手段を用いていた。	インカ帝国は、15世紀から16世紀にかけて南アメリカ大陸の広大な範囲を統治した帝国です。独自の文字を持たなかったため、数字や情報を記録・伝達するために「キープ」と呼ばれる紐の結び目を利用していました。また、マチュピチュのような険しい山岳地帯に都市を築くための石造建築技術や、効率的な道路網（インカ道）を整備していたことも大きな特徴です。
問9	答え 1 楔形文字	この地域では、湿った粘土の板に葦などの茎を押し当てて文字を刻んでいました。その形状が「くさび」に似ていたことから楔形文字と呼ばれます。亀の甲羅や牛の骨に刻まれたのは中国文明の甲骨文字、ナイル川流域で使われたのはエジプト文明の象形文字です。